



プログラム (行事コード:24104) : 12月1日(木)

『安全で経済的な施工計画を行うための講習会』

－ 施工計画と総合評価方式(発注者の視点)について －

主催 :	(社)土木学会 (担当:構造工学委員会・継続教育小委員会)	テキスト :	講演概要を冊子で配布します。 また、参考図書となる下記書籍を当日受付にて販売します。(会場特価)
共催 :	(社)日本建設業連合会 (社)建設コンサルタンツ協会関東支部		「仮設構造物の計画と施工【平成 22 年版】」 5,000 円 「土木施工なんでも相談室【仮設工編】2004 年改訂版」 2,100 円
開催日 :	平成 23 年 12 月 1 日(木)	申込方法 :	土木学会ホームページよりお申し込みいただくか、別紙「本部行事参加申込書」で土木学会行事担当宛に申し込んで下さい
場所 :	土木学会「土木会館」 2F「講堂」 新宿区四谷 1 丁目無番地 外濠公園内 JR 中央線「四谷駅」下車、徒歩 3 分	申込締切 :	平成 23 年 11 月 21 日(月)(定員に余裕がある場合には当日会場で受付します)
定員 :	100 名		
CPD単位 :	7.2 単位		
参加費 :	会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 3,000 円		

－ 施工計画と総合評価方式 (発注者の視点) について－

【講習会の内容】

近年の社会情勢、経済情勢から、構造物の建設に際して「安全で経済的な」施工を行うことは必要不可欠です。建設現場における仮設構造物は、この安全な施工を行うための重要な設備であるにも関わらず一時的なものとして取り扱われ、未だ大部分を現場技術者の経験に頼って計画されているのが現状です。しかし、昨今では構造物の品質を確保し、適切な施工を行うことを目的として様々な工事で総合評価方式が導入され、施工計画が評価において重要なウェイトを占めるようになってきています。

本講習会では、現場技術者が適切に仮設構造物を計画・施工することができるよう、地盤の基礎知識、土留め工・仮締切りの計画と施工および機械化施工における安全・環境対策について解説します。また、災害復旧工事など危険箇所採用される無人化施工を紹介するとともに、国土交通省から講師を御迎えし、総合評価方式の概要と発注者の最近の取り組みについて紹介します。

9:00～ 9:10	開会挨拶	継続教育小委員会委員長	篠原 修二
9:10～10:10	地盤の基礎知識	鹿島建設(株)	坂梨 利男
10:20～11:20	土留め工・仮締切りの計画と施工	清水建設(株)	藤田 淳
11:20～12:10	機械化施工における安全・環境対策	大成建設(株)	立石 洋二
12:10～13:00	(昼食)		
13:00～14:00	土木技術者の倫理	倫理・社会規範委員会	教育小委員会
14:00～14:50	無人化施工	(財)先端建設技術センター	新田 恭士
15:00～16:50	国土交通省の総合評価方式への取り組み(工事 / コンサル業務)		
		国土交通省 国土技術政策総合研究所	森田 康夫
16:50～17:00	閉会挨拶	継続教育小委員会幹事	山下 智康